



オリンピック・パラリンピック教育の推進

東京都立大崎高等学校長 白井 克昌

今年度、本校は、東京都教育委員会からオリンピック・パラリンピック教育推進校に指定されています。目標として、2020年東京大会開催を踏まえ、オリンピック・パラリンピックの歴史・意義や国際親善の果たす役割などを正しく理解させること、日本の伝統的な礼儀・作法やおもてなしの心を学ばせ、国際交流を通して世界平和に貢献しようとする生徒を育成すること、オリンピック・パラリンピック教育の推進を通して、創造的な知性と感性を身に付けた人間の育成、誠実で豊かな人間性と道徳心を身に付けた人間の育成を図ることを掲げて取り組んでいます。

- ① 10月をオリンピック・パラリンピック教育推進月間として、全教員で、オリンピック・パラリンピックに関するトピック授業を実施
 - ② オリンピック関係アスリート又は専門家を講師として講演会を開催
 - ③ 日本の伝統的な文化を学びおもてなしの心を学ぶ茶道教室を実施
 - ④ おもてなしの心とマナーについて、グローバルマナー特別講座を開催
 - ⑤ 海外の学校との交流を計画し、国際交流を実施
 - ⑥ コーディネーショントレーニングについて実技講習会を開催
 - ⑦ 体育の授業における体カトレーニングを強化し、体力向上を推進
 - ⑧ 部活動及び校外での活動における熱中症対策について専門家を招き講演会を開催
 - ⑨ オリンピック・パラリンピック関係の書籍を購入し、図書館にオリ・パラコーナーを設置
- こうした具体的な取組を通して、生徒一人一人が一步成長することを期待しています。

人の一生の中でも、15、6歳から20歳前後が成長年代からいっても、逞しい身体を作り上げる最後の時期とさえ言われています。大きくは人生の基盤の完成期であり、この時期に築き上げたものが、その人の一生を左右すると言えます。スポーツなどを通じて自ら鍛え、困難な状況も力強く乗り越えることができるだけの頑健な身体と精神を作り上げてほしいと願っています。



コーディネーショントレーニング実技講習会



元オリンピック選手(レスリング) 山本郁榮さんの講演会



図書館にオリ・パラの書籍コーナーを設置



茶道体験による礼儀作法の学習



オーストラリアの高校生が来校



熱中症予防の講演会

強歩遠足を終えて

生活指導部 強歩遠足担当 橋本 康徳

今年で第3回目になる強歩遠足が秋晴れの天気の中、9月30日(水)に実施されました。今年、第1回目からの継続課題である42kmコースが設定され、2、3年生の有志を中心とする約60名(女子14名)が挑戦し、全員が完歩しました。また、それ以外の2、3年生は35kmのコース、1年生は26kmコースに挑戦しました。

1年生は、26kmと言う長距離を歩くということに対して、ほとんどの生徒が初めての体験だったことだと思います。

2年生は、35kmに今年初挑戦となり、昨年からの経験を活かして、11km長い道のりを歩くことになり、不安があったことだと思います。

3年生は、昨年と同様の距離への挑戦となり、ほとんどの生徒が、部活動を引退しており受験勉強をしている中で、体力や気力に不安の残る中での再挑戦となりました。

それぞれの学年で決められた時間に集合、そして、班ごとに点呼を受けてスタート(集合時間に遅れて班員に迷惑をかける生徒多数いたことが残念)多摩川河川敷には、大崎高校の赤、緑、青の各学年のジャージを着た生徒たちでにぎわいながら、それぞれの思いを抱き、楽しくも、辛い強歩を行う生徒たちの活気で溢れんばかりでした。楽しく班員と「くだらない会話」をしたり、「しりとり」をしながら歩くこと数時間、この時間をどう考えるか・・・ちなみに強歩とはその名の通り、「強い歩み」と書く、「競歩」でも「協歩」でもなく、「強歩」である。ただ、お互いに競い合うことなく、ただただ長い道のりをひたすら歩き続けゴールを目指す。そのゴールに到達する過程には多くの困難がある。身体的な疲労をはじめ、多くの苦労がある。そして、この様々な苦労や困難を乗り越えゴールした時の「達成感」「やり遂げた感」「快感」何事にも代えがた自信につながると思います。また、改めて思ったことの一つに「仲間の大切さ」がある、苦しいとき、足にマメができ、普段では諦めてしまうとき、「仲間(班員)の存在」は大きかったのではないかと思います。

特に、3年生には、本当に苦しいとき、もうダメだと思い諦めそうになったとき、この「仲間」がいることを忘れないで欲しい、今回、リタイア者が多く出たこと、これも「仲間」の存在である。(助け合える存在の仲間であったか?協力し合える仲間であったか?)これから、入試という人生の大きな岐路に立つ、人生における良い仲間づくりをして、信頼でき、お互いに助け合える、真の友人関係を作りたいと思います。

1、2年生には、「やればできる」無限の可能性を持ち、自分の可能性を信じ、最後までやり遂げることの大切さや大変さ、諦めることより続けることの辛さをこの「強歩遠足」をきっかけに体験して欲しいと思います。

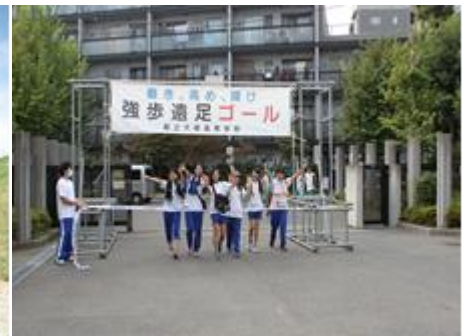
最後に、第3回強歩遠足を実施するにあたり、PTA役員の皆様には、長時間における、お手伝い誠にありがとうございました。心より感謝申し上げます。



<1年生：初めての強歩仲間と共に!>



<2年生：ひたすらゴールを目指して!>



<3年生：三年間完結のゴール!>